

NEWS RELEASE

報道関係各位

平成 28 年 9 月 12 日

ギガビット・インテリジェント・スタックブルスイッチ Secure HUB 『AT-GS900MX/AT-GS900MPX シリーズ』をリリース

アライドテレシス株式会社(本社 東京都品川区、代表取締役社長 大嶋章禎)は、ギガビット・インテリジェント・スタックブルスイッチ「Secure HUB AT-GS900MX/AT-GS900MPX シリーズ」の出荷を 9 月 20 日より開始します。

CentreCOM Secure HUB シリーズは、AMF^(※) 非対応のデバイスと AMF ネットワークをつなげる HUB として最適なコストパフォーマンスと機能をご提供します。AMF ネットワークのエッジに Secure HUB シリーズを配置し、それらに AMF 対応、または非対応デバイスを接続することで、AMF によるネットワーク全体の統合管理を適切なコストで実現します。10/100/1000BASE-T を 26/50 ポート(うち 2 ポートは SFP スロットとのコンボ(共有)ポート)、SFP+スロット 2 スロットを装備した、Non-PoE モデルの「AT-GS924MX」/「AT-GS948MX」と、PoE モデルの「AT-GS924MPX」/「AT-GS948MPX」からなる、ギガビット・インテリジェント・スタックブルスイッチです。

業界標準のコマンドに対応した AlliedWare Plus を実装しながら、ネットワークのエッジレイヤーに最適な機能に絞り込むことで価格を抑えた新しい特長を持つシリーズです。アップリンクポートが 10 ギガビットに対応しており、広帯域を必要とする高画質の IP カメラへの給電やエッジスイッチの集約スイッチとして最適な製品です。また、10 ギガビットポートはスタックポートとしても利用でき、優れた拡張性や可用性をご提供します。

【主な特長】

(1) AlliedWare Plus(AW+)

機能ごとのモジュールに分割されており、単一の障害が与える影響範囲を最小限に抑えることが可能です。

これにより旧来製品と比べシステム全体の可用性が格段に高まります。また、業界標準のコマンド体系に準拠し、他社製品からの移行においてもエンジニアの教育にかかり時間と経費を大幅に削減することが可能です。

(2) ネットワークインフラのユニファイド化^(※)

AMF(Allied Telesis Management Framework)は、ネットワーク上のスイッチやルーターを仮想的な 1 台の機器として統合管理し、管理運用の一元化、簡素化、自律化によって管理・運用に関わるコストの削減を実現するネットワーク仮想化機能です。AMF は統合管理を行う AMF マスターと、管理される AMF メンバーからなり、「一元管理」、「自動構築」、「自動復旧」、「非 AMF 装置対応」、「分散マスター処理」の 5 つの機能によりネットワークの統合管理を実現します。AT-GS900MX/AT-GS900MPX シリーズは AMF メンバー装置です。

(3) EPSR

EPSR(RFX3619)は、リング構成のネットワークにおいてレイヤー 2 レベルでの障害の検出と経路の切り替えをより高速に行います(最短 50 ミリ秒未満)。本製品は EPSR リング内にトランジットノードとして接続することができます。

(4) 幅広い用途に対応

インテリジェント・エッジスイッチとして重要となるセキュリティー、認証、省エネ機能など豊富なレイヤー 2plus 機能に対応しています。

(5) VCS(バーチャルシャーシスタック)

複数のスイッチを双方向 40Gbps の帯域幅を持つスタックモジュールで接続することにより、1 台の仮想スイッチとして扱うことができます。VCS グループは、最大 4 台の GS900MX/GS900MPX シリーズを自由に組み合わせ構築できます。スタック接続されてスイッチはバーチャル IP アドレス/MAC アドレスを用いて IP アドレス/アドレスを共有し、かつ L2 テーブル、QoS、アクセスリストなどの各種情報を同期することで VCS 構成時のマスター/スレーブの高速切り替えを実現した VCS ファストフェイルオーバー(VCS-FF)に対応しています。これにより、仮に 1 台に障害が発生しても運用継続が可能となり、ネットワークダウン・セッションダウンにシビアな環境やアプリケーションへの適応が可能となります。

(6) ループガード

接続ミスなどで発生するネットワークのループを検出し、設定した動作(ポートディセーブルなど)を自動実行するループガードに対応しています。

(7) PoE+(IEEE 802.3at)をサポート

AT-GS900MPX シリーズは従来の PoE(IEEE 802.3af)に加え、高容量給電が可能な PoE+(IEEE 802.3at)に対応しています。装置全体として、370W まで給電可能なため、PoE+対応無線 LAN アクセスポイントやネットワークカメラ等のさまざまな PoE+受電機器が接続可能です。クラス 3(15.4W)の受電機器を接続する場合、24ポートまで同時給電が可能です。

(8) 10 ギガビットイーサネットモジュール(SFP+)に対応

GS900MX/GS900MPX シリーズ共に SFP+モジュール対応スロットを2スロット搭載しており、別売の SFP+モジュールを搭載することで、高速/大容量の 10 ギガビットイーサネット環境を実現します。

<新製品>

製品名	標準価格 (税別)	リリース日
AT-GS924MX	¥180,000	9月12日
AT-GS948MX	¥300,000	9月12日
AT-GS924MPX	¥240,000	9月12日
AT-GS948MPX	¥370,000	9月12日

*保守バンドル製品、サポートチケットについては当社ホームページをご覧ください。

<<製品に関するお問い合わせ>>
info@allied-telesis.co.jp
http://www.allied-telesis.co.jp

<<ニュースリリースに対するお問い合わせ>>
マーケティングコミュニケーション部 田中 利道
Tel:03-5437-6042 E-Mail: totanaka@allied-telesis.co.jp

アライドテレシス株式会社 東京都品川区西五反田 7-21-11 第2 TOC ビル